

大阪大学泌尿器科において、包括同意書にて研究参加に同意された患者様および「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究」への研究参加に同意され、試料・情報を提供いただいた患者様へ

2024 年 12 月 20 日

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所では、大阪大学泌尿器科を受診し、上記研究（研究代表者 野々村 祝夫：大阪大学 器官制御外科学（泌尿器科）教授）への参加に同意された患者様の試料・情報を、以下研究にて使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われました場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究
ー治療感受性予測マーカーと治療抵抗性患者様に対する新規治療標的の探索ー

研究責任者

足立 淳 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
医薬基盤研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト プロジェクトリーダー

本研究の目的

腎癌・尿路上皮癌などの尿路性器がんは世界的に罹患率の高い疾患であり、今後さらに増加することが予測されています。尿路性器がんの治療成績を向上させるためには、その早期発見が求められていますが、これまで確立された血液・尿のバイオマーカーは存在しません。また、それら尿路性器がんの治療薬の開発も急務となっています。

多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

本研究では、最新のプロテオミクス技術を使い、ヒトの血液などの臨床材料から尿路性器がんの診断、治療感受性バイオマーカーおよび新規治療薬開発のために有用なタンパク質を発見することを目的としています。

研究期間

この研究課題の研究期間は承認日から 2027 年 12 月 31 日までです。

研究の方法

【研究対象者】

大阪大学泌尿器科を受診された方のうち、包括同意書にて研究参加に同意された患者様および研究計画「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究」において研究参加に同意いただいた（またはその可能性のある）方

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血液、尿、腫瘍組織、診療情報（検査結果のデータ・画像等）

【研究方法の概要】

大阪大学泌尿器科で採取された患者様の血液、尿、組織からタンパク質を抽出し、医薬基盤・健康・栄養研究所において尿路性器がんの診断、治療感受性バイオマーカーおよび治療薬の開発に役に立つタンパク質を探索します。ゲノム解析は実施しません。

試料・情報の提供について

試料は宅急便で、大阪大学から医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。臨床情報はパスワード付きのメールで大阪大学から医薬基盤・健康・栄養研究所に送付されます。

個人情報の取り扱い

個人情報は大阪大学泌尿器科で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

お問い合わせ先

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
医薬基盤研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト
プロジェクトリーダー 足立 淳
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8
電話：072-641-9862 内線 3209

大阪大学大学院 医学系研究科
器官制御外科学（泌尿器科）
教授 野々村 祝夫
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2
電話：06-6879-3531